

強い家づくりは基礎から

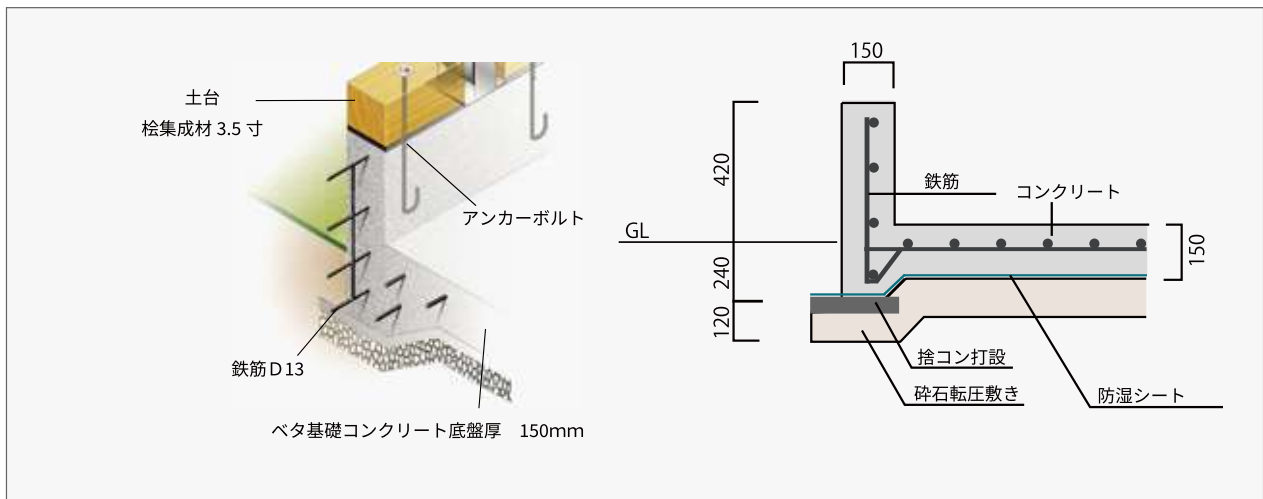
高耐久ベタ基礎

軟弱地盤等に使用されるベタ基礎工法を標準で採用。布基礎工法に比べて、BOX型の構造となる為、より強固な基礎耐力を確保出来ます。



建物の基礎部分を構成する鉄筋の配筋を組んだ後、基礎の鉄筋が配置されている位置、使用されている鉄筋の仕様、鉄筋と鉄筋の間隔などの検査も行います。

■ベタ基礎断面図



木造軸組工法



強度にすぐれた桧の土台

土台にはJAS基準に基づき厳格な品質管理をされた桧の集成材もしくはKDを使用。桧は耐久性に優れ、住心地が良く、永く安心して住める住宅の材料には最適です。



土台
桧集成材3.5寸
or
桧KD



柱・土台・梁の接合部も金物で締結



ホールダウン金物



筋交いBOX金物



火打ち金物

柱や筋交いが揺れて引き抜かれないように締結しています。ホールダウン金物は地震時などに柱が土台や梁から抜けるのを防ぐ役割をし、筋交いBOX金物は土台・柱・筋交いの3点で耐力壁をがっちり固めます。

水平構面に剛床パネルで強度を確保

地震の力が一番かかる水平構面。水平構面にかかった地震の力は耐力壁へと流れていき耐力壁で抵抗します。水平構面が簡単に变形してしまうと地震の力がかった際に建物が倒壊するという恐れもあります。そうならないように床は強固なものにしなければなりません。

1階2階床下地には剛床パネル(24mmの構造用合板)を施工しています。

<強度比較>

通常火打ち施工

床パネル施工



剛床パネル



約 2.8 倍

ロング基礎パッキン工法

ベタ基礎が完成すると次に、基礎と土台の間に隙間を設けて床下の換気をうながすために基礎パッキンを設置していきます。ロング基礎パッキン工法は基礎耐力の向上と土台の腐れを防止し、耐久性がアップします。



基礎パッキンロング

■基礎パッキン工法の利点

◎基礎耐震安全性向上

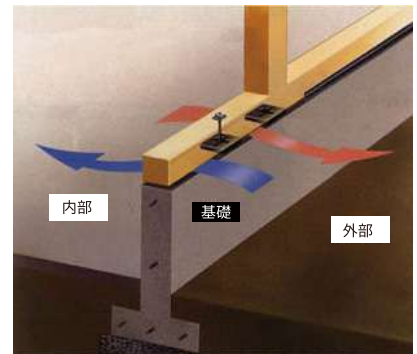
基礎耐力上もっとも厄介な従来型の換気口（断面欠損による弱点）を必要としないので、基礎形状はシンプルで、合理的な配筋施工が図れます。構造上重要な上端筋が換気口で切断されることなく基礎の耐力の安定・向上が図れます。

◎土台の腐れを防止

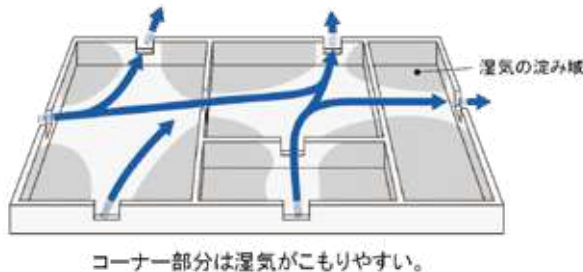
基礎パッキンによって土台は直に基礎に接することがなく、土台の下部が通気面となるため、常に乾燥した状態が保持されます。そのため、腐朽菌の発生を未然に防ぐことができます。

◎換気システムの排出効果

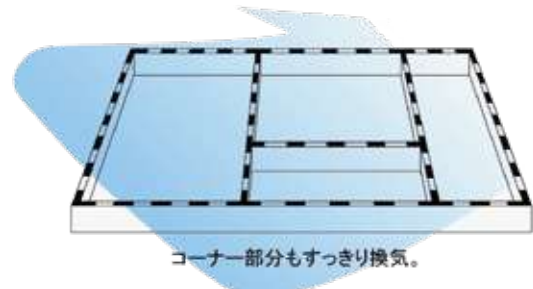
基礎パッキン工法は従来工法の床下換気口の換気能力に比べ、1.5倍～2倍の換気能力を発揮します。



●従来の工法



●基礎パッキン工法の全周換気方式



Joto基礎パッキン工法なら

自然の風を利用した床下換気で、
シロアリを寄せ付けない環境をつくれます。

しろあり保証
【城東テクノ(株)】

竣工後10年以内に蟻害が発生した場合、累計1,000万円を限度に賠償責任保証額の給付を保証します。



竣工後
10年

きれいを保つ外壁材

■サイディング 【ケイミュー】



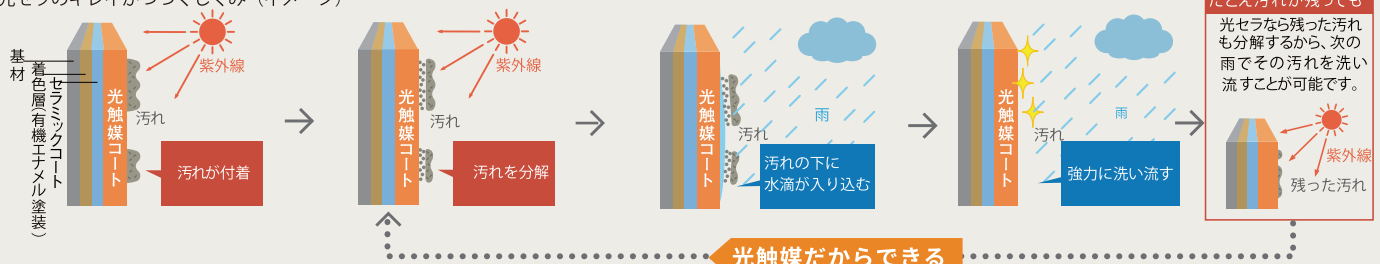
晴れの日も雨の日も光触媒が汚れをセルフクリーニング。
無機塗装のセラミックコートが紫外線による色あせを防ぐ。

汚れ分解

太陽のチカラで外壁の汚れを分解

付着した汚れを光で分解し付着力を弱めます。

■光セラのキレイがつづくしくみ (イメージ)



光触媒だからできる



抗ウイルス抗菌

光触媒が外壁表面に付着したウイルスや菌を不活化

大気浄化

光触媒の分解力が、大気中に含まれる排気ガス等の有害物質を無害化

高耐候性

紫外線による色あせを防ぐ
無機系樹脂・無機系紫外線吸収剤のダブル効果で紫外線をカット。長期にわたり着色層をしっかり保護し、色あせ・日焼けを防ぎます。

スーパーKMEWシールとセットで

色**15**年保証



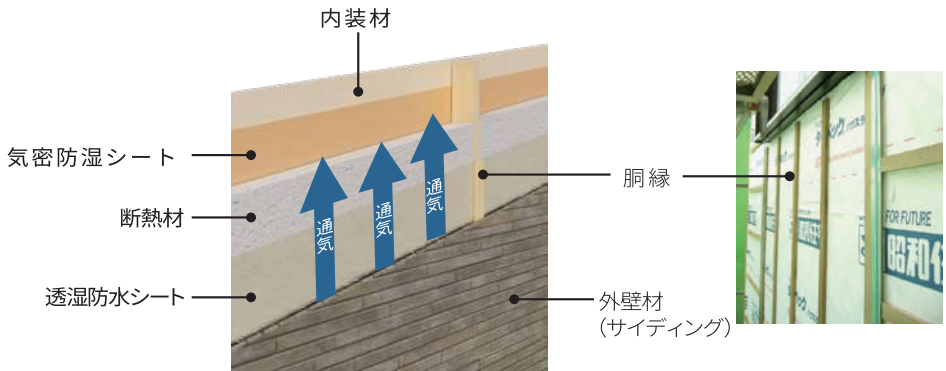
+



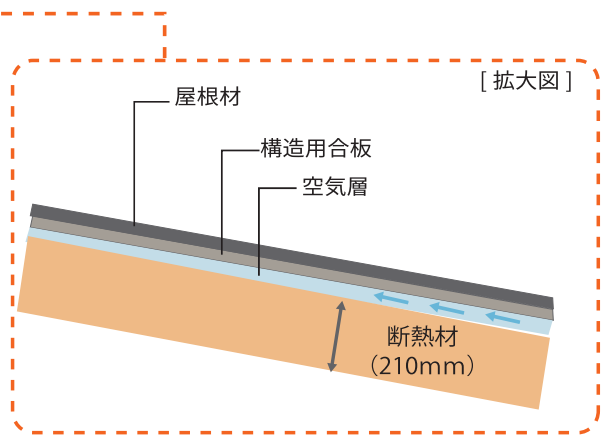
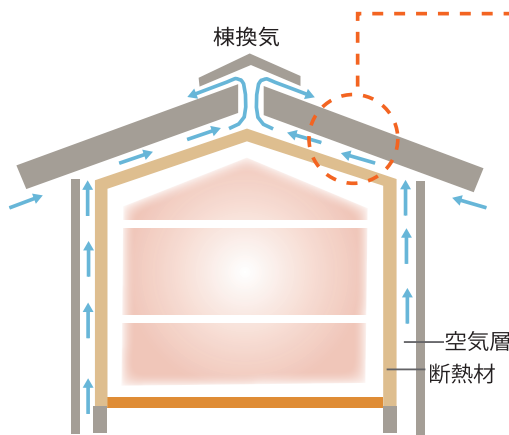
以下のセット使用などが保証条件となります。
・スーパーKMEWシール、又はKMEWシールZ
・純正同質出隅、又は純正銅板出隅
・純正留め金具
※外壁材とシーリングの接着面の剥がれは保証に含まれません。
※その他条件がございます。詳しくはお問い合わせください。

外壁通気工法

外壁構造には、外側のサイディングと内側の透湿防水シートとの間に空気層を取り入れた通気工法を採用。通風効果によって壁内結露なども防ぐ事ができ、住まいの耐久力を大幅に高めます。



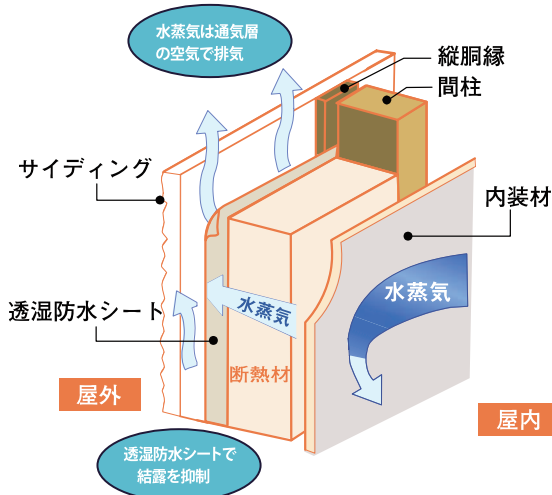
外壁下の隙間から空気が入り、軒裏の換気口に向かって空気が流れます。



外壁通気工法の特徴

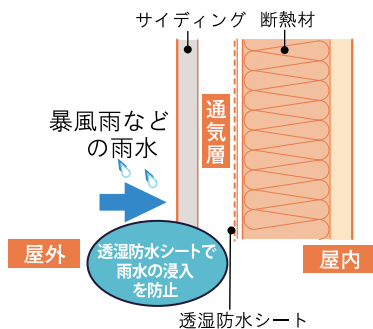
●壁内の結露を抑制

室内の湿気は内装材を通して壁の中に多少、浸透します。壁面が密閉状態だと湿気の逃げ場がなく、外壁材や壁内で結露が発生することがあります。通気工法を行うことにより、通気層より湿気を排出することができ、壁内結露を防げます。



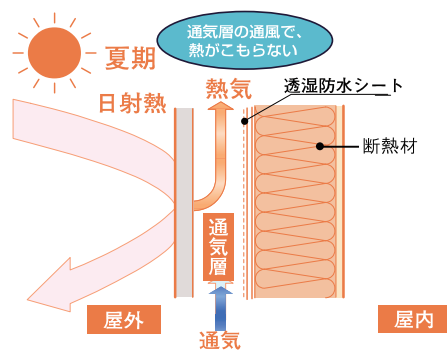
●雨水などの浸入を防止

暴風雨などにより万が一雨が浸入しても透湿防水シートで適切に排出します。



●遮熱効果

通気層の通風により熱がこもらず、遮熱効果が得られます。














「楽創+」の安心・安全な性能

国土交通大臣指定の第三者機関による審査を受けています。

住宅性能評価

住宅性能評価書は法律に基づいた一定の基準で住宅を表示・評価するために作られました。
住まいの性能等を10分野で評価された住宅の通知表のようなものです。

■ が「楽創+」の等級です。

① 構造の安定  地震・風・積雪・地盤・基礎に関する建物全体の強さを評価	耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止)		1	2	3	極めて稀に(数百年に一度程度)発生する地震による力(建築基準法)の1.5倍の力に対して倒壊、崩壊等しない程度				
	耐震等級 ※1 (構造躯体の損傷防止)		1	2	3	稀に(数十年に一度程度)発生する地震による力(建築基準法)の1.5倍の力に対して損傷を生じない程度				
	耐風等級 ※1		1	2	極めて稀に(50年に一度程度)発生する暴風による力(建築基準法に定める1.6倍)の1.2倍の力に対して倒壊せず、稀に50年に一度程度発生する暴風による力の1.2倍の力に対して損傷を生じない程度					
② 火災時の安全 ※1	住宅内で火災が発生したときの避難のしやすさ、隣の住宅が火災のときの延焼のしにくさを評価します。 外壁・床・屋根などが火に強いこと、火災報知器などの設置状況、避難・脱出のしやすさなどがこれにあたります。									
③ 劣化の軽減  建物の劣化を軽減する対策がどの程度されているかを評価	劣化対策等級 (構造躯体等)		1	2	3	通常想定される自然条件及び維持管理の条件の下で3世代(おおむね75~90年)まで大規模な改修工事が必要とするまでの期間を伸長するための対策が講じられている				
④ 維持管理への配慮  配水管・ガス管の日常における点検・清掃補修のしやすさを評価	維持管理対策等級		1	2	3	掃除口及び点検口が設けられている等、維持管理を容易とすることに特に配慮した措置が講じられている				
⑤ 温熱環境  外壁・窓を通して熱の損失の防止を図るための断熱化等による対策や一次エネルギー消費量の削減のための対策を評価	断熱等性能等級		1	2	3	4	5	6	7	熱損失等の大きな削減のための対策が講じられている
	一次エネルギー消費量等級		1	4		5	6	一次エネルギー消費量のより大きな削減のための対策が講じられている ※床暖房等の仕様等により等級が異なる場合がございます。		
⑥ 空気環境 ※1  換気性能に関する項目について評価	換気対策		室内空気中の汚染物質及び湿気を屋外に除去するための必要な換気対策							
⑦ 光・視環境 ※1	東西南北及び上方の5方向について、窓がどのくらいの大きさで設けられているかを評価します。									
⑧ 音環境性能 ※1	居室の外壁に設けられた開口部に方位別に使用するサッシによる空気伝搬音の遮断の程度を評価します。									
⑨ 高齢者への配慮 ※1	住戸内における高齢者等への配慮のために必要な対策の程度を評価します。									
⑩ 防犯 ※1	通常想定される侵入行為による外部からの侵入を防止するための対策。									

※1は選択項目です。プラン・仕様により異なります。

※「楽創+」標準仕様の場合です。プラン・仕様等により異なる場合がございます。国の政策により変更になる場合がございます。